

- 問1 なぜ、ニュース番組などの情報は、一つだけでなく複数の新聞やテレビ局のものを見る必要があるのでしょうか。
- 問2 インターネットで見つけた情報を他の人に教えたり、広めたりするときに、最も気をつけるべきことは何ですか。
- 問3 ニュースや天気予報など、いろいろな情報をわたしたちに届けるための手段を何とといいますか。
- 問4 インターネットで見つけた音楽や画像を、自分の調べ学習の発表で使いたいとき、どうするのがよいですか。
- 問5 ニュース番組を作る時に、もっとも大切にしなければならないことは何ですか。
- 問6 インターネットで情報を発信するときに、特に気をつけるべきことは何ですか。
- 問7 映像がなく音声だけで情報を伝えるため、料理や運転など、ほかの作業をしながらでも耳から情報を得やすいメディアは何ですか。
- 問8 テレビ番組の合間に流れる広告映像のことを何とといいますか。
- 問9 現代のテレビ放送で主流となっている、コンピュータの技術を使って情報を送る方式を何とといいますか。
- 問10 大きな災害が起きたとき、なぜ東京にある「キー局」だけでなく、各地の「ローカル局」が協力して情報を伝える必要があるのでしょうか。
- 問11 ニュース番組の制作過程において、「編集会議」ではどのようなことが行われますか。
- 問12 宇宙にある機械を使って電波を送り、山の中や遠くの島など広い範囲に一度に情報を届ける放送を何とといいますか。
- 問13 テレビ番組を作るとき、視聴者が見やすい時間帯を考えたり、どのような内容の番組を流すかを決めたりする仕事をする人はだれですか。
- 問14 インターネットを使って調べ学習をするとき、一番大切なことは何ですか。
- 問15 大きな災害が発生したとき、テレビ局は通常の番組を切り替えて、命を守るために重要な情報を伝える番組を放送します。これを何とといいますか。
- 問16 インターネットを使って自分の意見を世界中の人に向けて発信することの大きな強みは何ですか。
- 問17 インターネットを使って自分の考えや写真などを公開するとき、最も気をつけるべきことは何ですか。
- 問18 デジタル放送の大きな特徴として、視聴者がテレビ番組に対してクイズの答えを送ったり、意見を送ったりすることができる仕組みを何とといいますか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 発信元によって内容が異なることがあるから	ニュースの発信元である新聞社やテレビ局によって、取り上げる内容や視点が異なることがあります。そのため、一つの情報をうのみにせず、いくつかの情報を比べながら冷静に判断することが、情報の正確さを見極めるために必要となります。
問2	答え その情報が正しいかどうか	インターネット上には、間違った情報や、誰かを傷つけるような情報が混ざっていることがあります。情報の信頼性を確認せずに不用意に拡散してしまうと、社会に大きな影響を与えたり、トラブルの原因になったりするため、必ず確かめることが大切です。
問3	答え メディア	メディアとは、情報を受け手であるわたしたちに伝えるための手段や道具のことです。新聞やラジオ、テレビ、インターネットなどもすべてこのメディアに含まれます。
問4	答え ルールを確認し、自分だけで判断できないときは大人に相談する	インターネット上の音楽や画像には、それを作った人の権利（著作権）がある場合があります。勝手に使うとトラブルになる可能性があるため、まずは正しいルールを確認し、迷ったり判断に困ったりしたときは、必ず周りの大人に相談することが大切です。
問5	答え いろいろな視点から伝える	ニュースには、特定の一部の意見に偏らず、多角的な視点から公平に伝えることが求められています。そのため、情報の受け手である私たちは、一つの情報源だけを信じるのではなく、複数の視点から情報を確認し、冷静に判断することが大切です。
問6	答え 一度出した情報は消すのがむずかしいこと	一度インターネット上に文章や写真を公開すると、誰かがその情報をコピーしたり保存したりするため、あとから完全に消すことはとても困難です。そのため、情報を発信するときは、誰かを傷つけるような内容ではないか、後で困るようなことはないか、よく考えてから操作することが大切です。
問7	答え ラジオ	ラジオは音声だけで情報を伝えるメディアです。映像がないため目を使う必要がなく、料理や運転などの作業をしながらでも、耳から情報を得ることができるという特徴があります。
問8	答え コマーシャル	コマーシャルは、商品やサービスを多くの人に知ってもらうための宣伝映像のことです。テレビ局はこのコマーシャルを放送することで得られる費用を使って、番組を制作・放送しています。
問9	答え デジタル放送	現代のテレビ放送は、デジタル技術を使うことで、より多くの情報を素早く正確に届けられることができるデジタル放送が主流になっています。これによって、きれいな映像や音声を遠くまで送ることが可能になりました。
問10	答え 地域の細かい情報を集めて伝えるため	遠く離れた東京のテレビ局だけでは、被災地の細かい状況を把握することが難しい場合があります。地域に根ざしたローカル局が連携し、現場の正確な情報を伝えることで、より早く地域の安全を守る情報が届けられます。
問11	答え どのニュースを番組で取り上げるかを話し合う	編集会議は、取材で得た多くの情報の中から、今、視聴者に伝えるべき大切な内容を選ぶために行われます。この会議で決まった内容をもとに、映像の編集が進められます。
問12	答え 衛星放送	宇宙にある人工衛星（じんこうえいせい）を使って電波を送る放送を「衛星放送」といいます。この方法を使うと、山の中や遠くの島など、ふつうの電波が届きにくい場所にも、一度に情報を届けることができます。
問13	答え 番組編成責任者	番組編成責任者は、たくさんの人がテレビを見る時間帯に合わせて、どのような順番で番組を放送するかを決定する大切な役割です。カメラマンは映像を撮る人、記者は情報を集める人、アナウンサーはニュースを伝える人と、それぞれ専門の役割分担があります。
問14	答え 役所や公的機関など、信頼できる情報元であることを確認する	インターネット上には、間違いや古い情報が含まれていることもあります。そのため、役所や公的機関が出しているページなど、情報の出所がはっきりしていて信頼できるものかどうかを確認することが、正しい情報を集めるための基本となります。
問15	答え 緊急特番	災害などの緊急時には、視聴者にいち早く正確な情報を届けることが最優先されます。そのため、予定していた番組を変更し、緊急特番として情報を伝えます。
問16	答え 世界中の人に自分の考えをすぐ伝えることができること	インターネットは、遠くにいる人や世界中の人に対して、自分の考えや意見を瞬時に（すぐに）発信できるという大きな強み（特性）があります。ただし、だれでも発信できるため、インターネット上のすべての情報が正しいとは限らないことや、使うためにはパソコンやスマートフォン、通信の契約などが必要なことにも注意しましょう。
問17	答え 名前や住所などの個人情報を載せないこと	インターネットに投稿した内容は世界中の誰でも見ることができるため、自分の住んでいる場所や名前などの「個人情報」が流出すると、思わぬ犯罪やトラブルに巻き込まれる危険性があります。まずは自分の身を守るためのルールを意識することが大切です。
問18	答え 双方向	デジタル放送は情報を送るだけでなく、受け取る側からも情報を送り返すことができるため、このような名前と呼ばれています。これにより、視聴者は番組作りに参加できるようになりました。